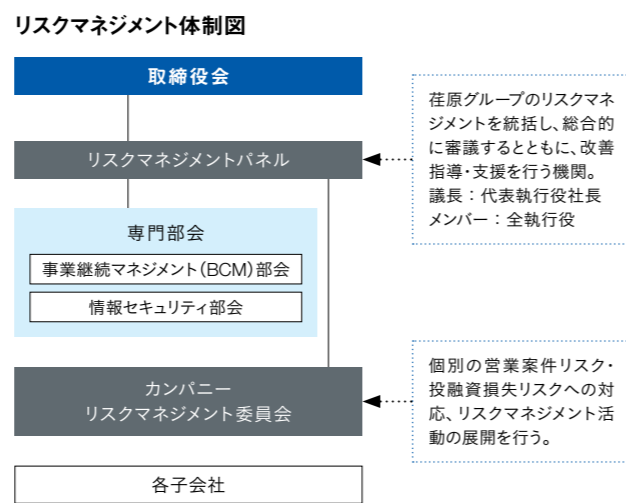


## リスクマネジメント

### 基本的な考え方

荏原グループのグローバルな事業展開を支えるためには、グループガバナンスとリスク管理の対応を強化することが必要です。そこでグループガバナンス強化に向けたグループ運営規程の見直し・運用の徹底、グループ共通の達成目標に基づく各社のリスク管理体制の整備を目的としたリスクマネジメントガイドライン\*1、各社の内部統制強化に向けた内部統制自己点検ガイドライン\*2等の枠組みを整備し、グループ会社に展開しています。これらを活用し浸透させ、継続的にリスク管理体制の改善を図っています。

\*1. リスクマネジメントガイドライン：海外グループ会社のリスクマネジメントレベルの向上を目的として、環境、腐敗防止、労働安全、人権など12項目についてのリスクマネジメントレベルを会社ごとに自己評価し、2019年12月期末までの整備計画を策定した指針。  
\*2. 内部統制自己点検ガイドライン：荏原グループ各社が主体的に内部統制を整備・運用・改善するための自己点検指針。



### 重点戦略項目と進捗状況

これまで取り組んできたリスクマネジメント活動のグループ各社への浸透と定着化を目指すとともに、海外への展開が遅れていた事業継続マネジメント活動や情報セキュリティなどの強化を図り、各事業のグローバル展開を支えていきます。

|                              | 戦略                                | 進捗  |
|------------------------------|-----------------------------------|---|
| 海外子会社を含めたグループ全体のガバナンス強化      | 内部統制自己点検ガイドラインのグループ会社への展開         | グループ各社の整備支援、項目の拡充                           |
| リスクを未然に防止し、発生したリスクの適切かつ迅速な対応 | リスクマネジメントガイドラインのグループ会社への展開        | グループ会社のフォローアップ(実態把握・改善指導)                   |
|                              | リスクマネジメントパネル(RMP)を軸としたリスク管理の継続    | 年4回の定期開催と個別案件審議を合わせてRMPを9回開催、海外を含む緊急連絡体制を整備 |
|                              | 海外グループ会社の事業継続マネジメント活動や情報セキュリティの強化 | 事業継続マネジメント(BCM)部会の立ち上げ、情報セキュリティ部会の立ち上げ      |

### 主なリスクとリスクへの備え

| 項目   | リスクマネジメント活動   |
|--|---|
| 1. 平時の事業活動において発生しうるリスク<br>1) コンプライアンスリスク<br>①カルテル・談合の禁止 ②贈収賄の禁止*<br>③反社会的勢力 ④安全保障貿易管理*<br>⑤建業法遵守 ⑥下請法遵守* | 腐敗防止に関する基本方針を全子会社に制定。国内は組織横断的な専門委員会を設置し、対応方針の審議、規程整備、教育活動等を通じて整備・運用を実施。コーポレート専門部署によるモニタリングを定期的実施。 |
| 2) 財務報告の信頼性に関わるリスク*  | 連結会社における金融商品取引法に基づく内部統制構築および評価を実施。「内部統制自己点検ガイドライン」を全子会社に展開、各社自己点検による改善を推進。                        |
| 3) 営業案件リスク<br>4) 投融資損失リスク  | 特定の大型案件、リスク案件について、リスクマネジメント委員会、リスクマネジメントパネルにて審議。  |
| 5) 環境リスク*  | ISO14001に基づく整備とISO監査を実施。  |
| 6) その他の業務リスク   | 品質保証、労働安全等について、専門委員会を設置。情報セキュリティ部会を設置。活動方針、実施計画等を作成・展開。   |
| 2. 通常の体制では対応できないリスク(クライシス)   | 事業継続マネジメント(BCM)部会を設置。各部門にて事業継続計画および教育訓練を実施。海外緊急事態対応の連絡体制を整備、マニュアルを作成。                             |

\* これらの項目について、海外では国内に準ずる形で各社整備計画を策定し対応中。

## コンプライアンス

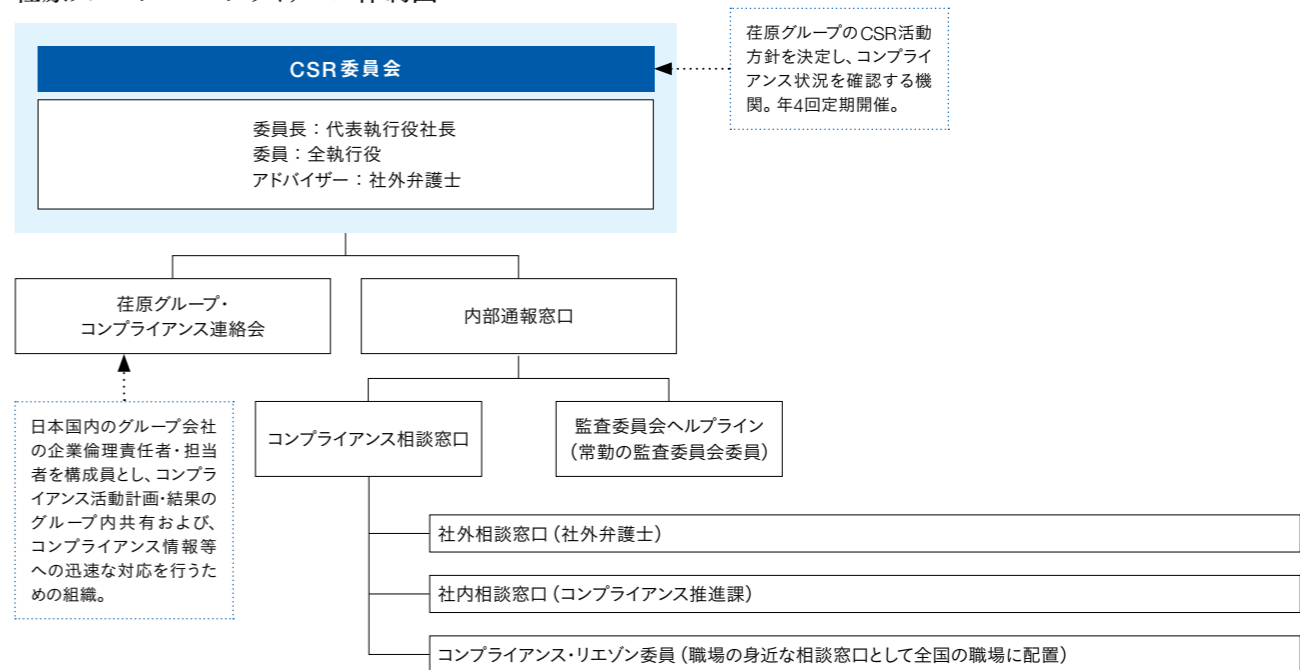
### 基本的な考え方

荏原グループのCSR方針「高い倫理観をもって事業を行うとともに、大切な皆様(お客様、取引先、株主・投資家、地域社会、従業員を含む、全てのステークホルダー)との信頼関係を築きます」に基づき、法令順守のみならず、社内規程・その他のルール、社会規範、そして常識・良識を含めて誠実に実践し、事業活動を行います。

もしコンプライアンス不徹底による不祥事が起きれば経営基盤を揺るがしかねないことを十分に認識し、コンプライアンスを徹底するため、「CSR委員会」「荏原グループ・コンプライアンス連絡会」「コンプライアンス・リエゾン制度」および「内部通報窓口」を設置し、運用しています。

【参照】「荏原グループ行動基準」  
[http://www.ebara.co.jp/about/csr/ethics/corporate\\_ethics/index.html](http://www.ebara.co.jp/about/csr/ethics/corporate_ethics/index.html)

### 荏原グループ・コンプライアンス体制図



### 重点戦略項目と進捗状況

|                  | 戦略                    | 進捗  |
|------------------|-----------------------|---|
| コンプライアンス、腐敗防止の徹底 | コンプライアンス意識の分析と改善      | コンプライアンスアンケートの内容を刷新、外部のベンチマークとの比較、会社・部門レベルの傾向やリスク分析を通じて良好な位置付けであることを確認      |
|                  | 海外荏原グループ・ホットラインのエリア拡大 | 中国の5社に加え、ベトナム1社、インドネシア1社で弁護士事務所を窓口とするホットラインを開設、ホットライン説明会と腐敗防止研修を同時開催        |
|                  | 腐敗防止プログラム*を継続的に実施     | 海外グループ会社代表者による腐敗防止宣言の再確認・周知および腐敗防止基本方針・賄賂防止細則に基づいた研修の実施(グループ会社研修および海外赴任者研修) |

\* 腐敗防止プログラム：荏原製作所および各子会社における①代表者による腐敗防止宣言、②腐敗防止基本方針、③賄賂防止細則の制定、を組み込んだリスク管理プログラム。